

荒木眞二郎 あらいま しんじろう 生化学者、醫學博士。慶應二年十月十七日生野
國生れ、昭和十七年一月二十八日歿（一八六一—一九四二）。號鳳岡。帝國大
學醫科大學別科卒。京都帝國大學醫學部初代醫化学教授、大正四年同
大總長。昭和四年醫科学院院长。極密顧問官。生体内乳酸生成を研究、
我が國生化学の開祖と曰ふ。漢詩を能くす。

著書に、『鳳岡存稿』（長尾田校、昭和五年十一月十五日京都・荒木前
總長に託し卒業會へ）、『勸學語』（昭和五年十一月十五日京都・荒木前
總長に託し卒業會へ）等。

